



パスファインダー Pathfinder ～あるテーマについて調べる際に、役立つ資料や調べ方を紹介します～

日本語には、たくさんの種類の助数詞（ものの数え方）や単位があります。これらを正しく使い分けるために、役立つ資料をご紹介します。

## 1. 数え方について調べる

### （1）専門の事典・図鑑で調べる

#### ■『数え方の辞典』（飯田 朝子／著 小学館 2004年）【815.2/41】

第1章「ものの数え方」では名詞項目約4,600語についての助数詞を、第2章「助数詞・単位一覧」では助数詞や同じ働きをする名詞など約600語について、意味や用法を解説しています。

#### ■『日本語の数えかた図鑑』（青木 伸生／監修 童心社 2023年）【815/ニホ】

「いきもの」「植物」などのカテゴリー別に、日本語の様々な数え方を、豊富な写真やイラストを参照しながら調べることができます。巻末には、単位についての説明や、名詞や助数詞を含めた索引があります。

### （2）言葉（名詞）から数え方を調べる

#### ■『日本語大辞典 講談社カラー版 第2版』（講談社 1995年）【813.1/ニホ】

語句の説明の後に、数え方が載っています。

### （3）助数詞に関する本で調べる

#### ■『日本の助数詞に親しむ 数える言葉の奥深さ』（飯田 朝子／著 東邦出版 2016年）【815.2/41】

身近なものの数え方に触れながら、日本人がどのようにものごとを捉えて助数詞に反映させているかを紹介しています。

#### ■『日本語の助数詞 研究と資料』（三保 忠夫／著 風間書房 2010年）【815.2/ミホ】

文字資料に基づく、中古～近世における助数詞の研究書です。実際の資料から、当時の助数詞の使われ方を参照することができます。

## 2. 単位について調べる

### （1）単位の基本を知る

#### ■『単位と法則大図鑑』（和田 純夫／監修 ニュートンプレス 2022年）【420/タ】

さまざまな単位を紹介するとともに、その歴史や、国際単位に換算した値、単位を決めるために使われた法則も掲載しています。カラーの図版でわかりやすく説明した一冊です。

#### ■『知っておきたい単位の知識 改訂版』

（伊藤 幸夫・寒川 陽美／著 SBクリエイティブ 2018年）【609/イト】

単位って何？どこから来たの？単位の進化の道筋を追いながら、使われ方や単位にまつわるエピソードを紹介します。文系の読者にもわかりやすい本です。

#### ■『これだけ!単位』（伊藤 幸夫・寒川 陽美／著 秀和システム 2015年）【609/イト】

単位に関して“まずは、これだけ”というポイントに絞り、基礎・基本から知りたい人に向けた入門書です。

## (2) 単位の事典・図鑑を調べる

### ■『数える・はかる・単位の事典』(武藤徹・三浦基弘／編著 東京堂出版 2017年)【609.0/カ7】

「はかる」という行為に焦点をあて、単位、単位系、対象となる量、測定用具、関連する人名・書名、背景やエピソードを収録しています。「概説編」では、はかることや単位に関わる事柄をカテゴリーに分けて解説し、「事典編」では、見出し項目を五十音順に配列しています。

### ■『丸善単位の辞典』(二村 隆夫／監修 丸善 2002年)【609.0/マル】

単位の名称を五十音順に配列し、解説しています。併せて、単位に似たものや単位に準ずるもの(事物のとらえ方や数値で表すもの(〇〇値、△△率、××指数など))についても広く採録した辞典です。

## (3) 単位の歴史・なりたちを知る

### ■『図解単位の歴史辞典』(小泉袈裟勝／編著 柏書房 1989年)【609.0/コ1】

長さ・面積・体積・重さ・貨幣・干支・天文・暦法・易占・方位・角度・時間・年齢・割合など、歴史に現れた「単位」と「計量」に関する用語・事項を広範囲に網羅した辞典です。

### ■『単位の歴史 測る・計る・量る』(イアン・ホワイトロー／作 大月書店 2009年)【609.0/初】

有史以来のさまざまな度量衡(単位の体系)、長さ、質量、時間、温度など、多岐にわたる単位の歴史を通じて、人間が世界を理解してきたプロセスを知ることができます。巻末には、日本の単位についての解説もあります。

## 3. 国際単位系(SI)について調べる

「国際単位系(SI:フランス語 *Système international d'unités* に由来)は、現在国際的に使用されている単位系であり、科学技術の進展と共に進化してきた、合理的かつ実用的な単位系です。そのルーツは18世紀のフランスで生まれたメートル法に遡ります。メートル法はその後1875年のメートル条約の成立を経て世界中に広まり、電磁気や化学の計量を取り込み、7つの定義定数および7つの基本単位を起点とする単位系に体系化され現在に至っています。」

〔出典:産業技術総合研究所 計量標準総合センター「国際単位系(SI)」

計量標準総合センター公式サイト(<https://unit.aist.go.jp/nmij/library/si-units/>)より〕

### ◆インターネット情報「計量標準総合センター」〈国立研究開発法人産業技術総合研究所〉

日本の「長さ」や「重さ(質量)」、「時間」などのあらゆる計測の基準(国家計量標準)を開発・管理している機関のサイトです。(<https://unit.aist.go.jp/nmij/>)

◇「計量標準を学ぶ > 国際単位系(SI)」 国際単位系(SI)や最新の動向について知ることができます。

◇「イベント・出版物 > SI文書」

国際単位系(SI)について、フランスに本部を置く国際度量衡局(BIPM)が出版している「SI brochure(SI文書)」の和訳および解説文書を公開しています。

国際度量衡局(BIPM)が2019年に刊行した「The International System of Units, 9th edition」の日本語版「SI文書第9版(2019)日本語版」も掲載しています。

### ■『単位のキホンがわかる本』(コンデックス情報研究所／編著 成美堂出版 2019年)【609/タ】

7つのSI基本単位の成り立ちと定義、基本単位をベースとして表すことができるSI組立単位を中心に、SI単位には含まれない日常生活で耳にする単位についても説明しています。

### ■『SI単位ポケットブック 第2版』(国際単位研究会/編 日刊工業新聞社 2003年)【609/イ】

国際単位系(SI単位)を学問分野別に解説しています。併せて、当分の間使用が認められているSI併用単位、非SI単位も解説したSI単位便利帳です。辞書としても使うことができます。